

(仮称) 東日本連携支援センターの設置場所

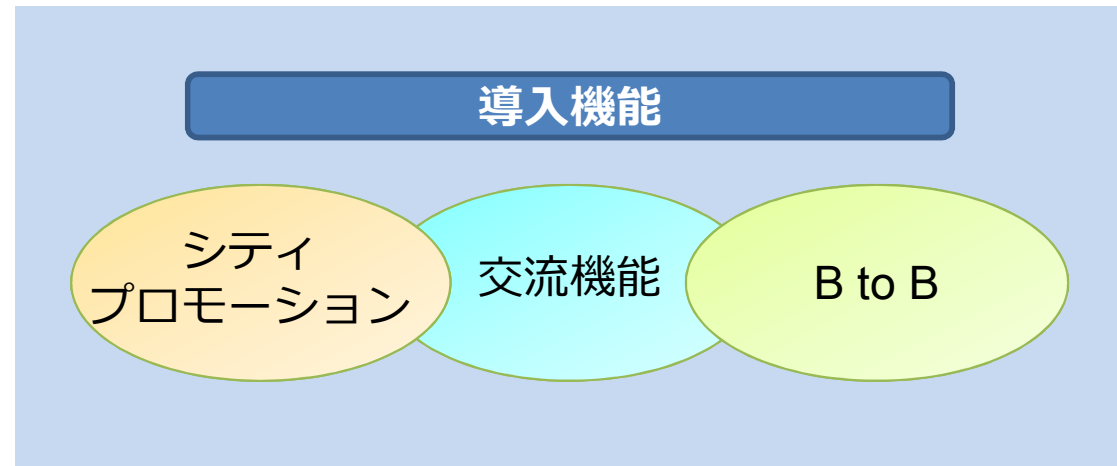
■ 物件概要

三井住友信託銀行大宮支店跡地

住所 : さいたま市大宮区大門町 1 - 6 - 1

フロア構成 : 1階~3階

賃貸面積 : 514㎡ (155.7坪)
(1階、2階部分を賃貸)



(仮称)東日本連携支援センターの導入機能と効果

東日本の各地域が交流するプラットフォームを対流拠点である大宮に設置することで東日本連携を加速。
さいたま市・連携都市にとっての地方創生を実現する。

場の役割

東日本連携都市の多様な「ひと・もの・情報」を集積し、発信し、交流を活性化させる。

期待する効果

さいたま市・大宮駅前の
新たな賑わいの創出

東日本連携都市の魅力を
まとめて発信する

東日本連携都市への
人の流れをつくる

東日本連携都市の
産業を活性化する

ユニークな飲食コンテンツの提供による
カフェの魅力づくり

地方創生事業の
新たなパートナー獲得のきっかけに

新たに生み出した新商品やプロジェクトの
紹介 / テストマーケティングなどの場として提供

主に1階で展開

主に2階で展開

導入機能 A

シティプロモーション

連携地域の魅力的な「ひと・もの・情報」を発信することで、広く人々に各地域へ関心を持ってもらうきっかけを生み出し、観光誘客、特産品のプロモーション、UJ ターンなどの移住を促進する。

導入機能 C

交流機能

当センターを訪れた地域住民・観光客・ビジネスマン等と連携自治体の人々が出会いや交流を楽しめる場づくりを通じて、シティプロモーションとビジネスマッチングの機能を高める。

導入機能 B

B to B

北海道、東北、信越、北陸、北関東及びさいたま市の中小企業・ベンチャーなどこれまで出会うことのなかった企業同士のマッチングを行い、新産業創出や商流の新規開拓などを加速させる。

飲食空間における
出会い・交流をきっかけとした
地域の新たなファン獲得

当センターから誕生した
新産業やプロジェクトの打ち出し

簡単な打ち合わせなどでのカフェ利用
ビジネスイベント利用（特に食に関するもの）

(仮称) 東日本連携支援センターの運営内容のイメージ

シティプロモーションの 展示企画・情報編集サポート

シティ
プロモ

シティプロモーションスペースに自治体が情報発信を希望する内容を受け、相談を重ねながらより魅力的に発信するための展示演出方法などのサポートやアドバイスを行う。



季節やトレンドを鑑みた 各種イベントの企画・運営管理

シティ
プロモ

BtoB

特産物の旬や地域の行事などのシーズンに合わせたイベント / キャンペーンなどの企画調整を連携地域担当者で行い、運営管理する。そのほか、センター主催のイベントについては自ら企画立案し、運営を行う。



センターの活動や成果を発信する 広報誌やWEBサイトの運営

シティ
プロモ

BtoB

センターにおけるイベント情報やシティプロモーションを展開している自治体の紹介、ビジネスマッチングの成果や進行中のプロジェクトの情報をまとめた広報誌やWEBサイトによる発信を行う。



BtoB 利用サポート オフィス用品レンタルなど

BtoB

コーディネータ、商工会館所、金融機関と連携したビジネスマッチング支援。プロジェクターなどオフィス用品の貸し出し、プリントサービスなど。テストマーケティング、商談会などの実施。



連携地域の魅力を積極的に取り入れながら 交流を促すカフェ運営

季節ごとにテーマなどを設定し、連携地域とコミュニケーションしながら、旬の食材や郷土食などをメニューに取り入れたカフェ運営を行う。



東日本連携ブランドの 新たな商品・サービスを共創するプロジェクト

BtoB

東日本連携により各地域の魅力を融合させた新たな商品やサービスの創造に取り組むプロジェクトを展開する。参加者は各地の自治体や商工会館所、青年会、学生、クリエイターなどの有志で構成するなど。

